社会課題を、超えていく。

UR都市機構

令和８（2026）年 11 月 11 日
独立行政法人都市再生機構
九州支社

11 月 18 日（水）物流事業者と配送ロボットの連携による集合住宅向け棟内配送サービスの実証実験を実施

独立行政法人都市再生機構（以下、ＵＲ都市機構）は、FUKUOKA Smart EAST 推進コンソーシアム（福岡市、九州大学、福岡地域戦略推進協議会、土地利用事業者※1、ＵＲ都市機構）の一員として、先進的なまちづくりを目指す「FUKUOKA Smart East」の取組みを推進するため、アイホン株式会社をはじめとする関係事業者と連携し、集合住宅における棟内配送サービスの実証実験をＵＲ賃貸住宅で実施します。

本実証では、宅配業界の人手不足などの社会課題解決に向け、配送ロボットによる住戸前までの自動配送や不在時の置き配を実現する棟内配送サービスを検証します。昨年度は、配送ロボットによる住戸前配送の実証を行いましたが、本年度は新たに“置き配機能を追加”するとともに、“物流事業者が参画”することで、より実運用に近い環境での検証を行い、配送ロボットを活用した棟内配送サービスの有効性や運用上の課題を検証します。

日　　時　：令和8年 11 月 18 日(水)午後1時 30 分～午後3時
場　　所　：URアーベインルネス香椎3号棟(福岡市東区香椎団地 1-3)
実施事業者　：アイホン株式会社、NetsdarRobotSolutions 株式会社、
日本オーチス・エレベータ株式会社、株式会社ワールドサプライ

実施イメージ



イラストはイメージです。

※1　令和８年３月 26 日に九州大学箱崎キャンパス跡地地区のまちづくりを担う土地利用事象者として決定した、住友商事株式会社を代表企業とする８社で構成する企業グループ

＜参考：実施場所＞

● ＵＲアーベインルネス香椎（３号棟）



取材をご希望の方は、11 月 17 日（火）午後3時までに「貴社名、ご担当者氏名、参加人数、カメラの有無、ご連絡先」を次ページの取材申し込み先までご連絡ください。

〇当日は、午後1時 10 分に3号棟南側の受付にご集合ください。事前に実証実験の概要説明を行います。

〇駐車場のご用意はありませんので、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

〇撮影にあたりましては、居住者の皆さまのご迷惑とならないようご配慮をお願いいたします。また、撮影の際は居住者の皆さまのプライバシー保護に十分ご留意いただき、個人が特定される映像や写真撮影・掲載についてはご遠慮ください。

＜参考：FUKUOKA Smart EAST 推進コンソーシアムについて＞

UR都市機構は、福岡市、九州大学、福岡地域戦略推進協議会、土地利用事業者、UR都市機構の5者で構成される FUKUOKA Smart EAST 推進コンソーシアムに参画しています。

「FUKUOKA Smart EAST」は、少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、先端技術の導入などにより、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し未来に誇れるまちづくりに取り組んでいく福岡市のプロジェクトです。まずは、その先駆けとして、箱崎（九州大学箱崎キャンパス跡地）のまちづくりにおいて、取り組みを行っています。

本コンソーシアムでは、九州大学箱崎キャンパス跡地等において、スマートサービス※2の将来の実装に向け、実証実験を支援し、時代に応じた様々な社会課題をイノベーションの導入等により解決することで、先進的なまちづくりの実現及びその持続的な発展を図ることを目的としています。

※2　「スマートサービス」とは、様々な社会課題の解決、地域や利用者の利便性向上に資するイノベーションを活用したサービスや機能を指す。

【お問い合わせ先】

○**取材申し込み先**、「Fukuoka Smart East」の取り組みに関すること
FUKUOKA Smart EAST 推進コンソーシアム事務局（福岡地域戦略推進協議会内）
担当：柚木、福見　TEL：092-710-7739　Mail：yuzuki@fukuoka-dc.jpn.com

○「実証実験の内容」に関すること
NetsdarRobotSolutions 株式会社　ロボティクス事業部
担当：松本　　TEL：03-5859-5635　　Mail：matsumoto@netsdar.co.jp

○UR賃貸住宅に関すること
UR都市機構　九州支社総務部　総務・法務課（報道担当）　TEL：092-722-1004

ＵＲ都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害対応支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

https://www.ur-net.go.jp/

社会課題を、超えていく。
UR都市機構
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。